

## 整形外科リハビリテーション学会誌投稿規定

### 1. 投稿者

原則として整形外科リハビリテーション学会(以下本会)会員に限ります。とくに、原著、症例研究、症例報告、総説の場合は、筆頭著者が本会会員である事が必要です。ただし、理事会で決定し、会員以外のものに投稿を依頼する場合は、この限りではありません。

### 2. 論文原稿の投稿

論文原稿の投稿、編集委員会とのやり取りは、基本的にメールにて行います。投稿に際しては、論文本文と図表以外に「投稿同意書」、「投稿論文チェックリスト」、「投稿承諾書」を提出してください。各文書は、ホームページ上からダウンロードするか、学会誌に綴じ込まれている部分をコピーして使用してください。各文書の提出時期は以下の通りです。

初回投稿時：「投稿同意書」のPDFファイルをメール添付にて提出してください。

最終投稿時：「投稿同意書」、「投稿論文チェック表」、「投稿承諾書」の原本を提出してください。

投稿希望の会員は、下記メールアドレス宛に、原稿を投稿してください。

・メールアドレス：ronbuntoukou@gmail.com  
件名は「論文投稿希望：氏名 日付」としてください。

・例) 論文投稿希望：論文太郎 19910101

### 3. 論文の種類と内容

論文の種類は、原著、症例研究、症例報告、総説、他があり、その内容は、整形外科リハビリテーションに関係したものである事が必要です。また、すでに他誌に掲載されていないもので、かつ、掲載予定の無いものに限ります。

執筆に際し、ヒトを対象とした論文が多くなる傾向がありますが、個人情報保護、ならびに被検者の人権を尊重し、倫理上適切に対応する必要があります。特に症例報告では、対象となる患者の了解を必ず得てください。必要

に応じて、文章中に明記してください。

「**原 著**」：論理的かつ明確な構想にもとづき、自分自身の結果をまとめ、何らかの結論を与えたもの。独創的かつ斬新な情報、洞察を介した論が、編集委員会において認められたもの。

1 ページ 400 字設定で最大 25 枚以内(図、表は原稿 1 ページに換算)としてください。

「**症例研究**」：症例における臨床経験や傾向、分類など、ある程度まとまった症例数の中で研究を行い、臨床に於いて何らかの示唆を与えるもの。

1 ページ 400 字設定で最大 25 枚以内(図、表は原稿 1 ページに換算)としてください。

「**症例報告**」：非常にまれなケースや、一般にあまり認識されていない症状や経過をたどったケース、また難渋したケースや良好な経過をたどったケースなど、整形外科リハビリテーションの実施にあたり、有益な情報を与えると判断されたもの。

1 ページ 400 字設定で最大 15 枚以内(図、表は原稿 1 ページに換算)としてください。

「**総 説**」：編集委員会からの依頼により、講演会や研修会等で口演された内容を、教育的配慮を持って論文の形にまとめたもの。

1 ページ 400 字設定で最大 25 枚以内(図、表は原稿 1 ページに換算)としてください。

### 4. 論文の採否

論文の採否は、編集委員会が査読の上決定します。査読の結果、著者に対し原稿の一部加筆、変更のお願いをすることがあります。また、編集委員会の判断により、記述の一部を修正することがあります。

### 5. 原稿データおよび本誌の贈呈

査読の上、論文が受理された場合には、執筆者への掲載決定通知とともに、その年度の整形外科リハビリテーション学会誌に掲載されます。併せて、掲載雑誌を1部と原稿のデータ

ファイル (PDF ファイル) を贈呈します。投稿いただいたメールアドレス宛に、原稿データファイルを送付します。

## 6. 校正

著者校正は原則 1 回とします。修正箇所が分かるように変更点ファイルを添付してください。詳細は、査読結果通知の際にお知らせします。

## 7. 著作権・書誌データ等の扱い

論文の著作権は、整形外科リハビリテーション学会に帰属します。また書誌データは学会として NPO 医学中央雑誌刊行会の学術データベースに提供します。

## 8. その他

①共同執筆者は発表において関与が深い者で、初回投稿時に本会会員であり、最大 5 名までとします。会員外の指導を受けた医師や理学療法士・作業療法士等は、【謝辞】に記載して下さい。

②論文は、題名 (和文・英文)・氏名・所属名・キーワード (3～5 個)・和文の要旨 (400 字程度)・本文の順で記載してください。また、原著、症例研究、症例報告には 400 語程度の英文抄録を添付してください。

③単位は原則として、国際単位系を用いてください。例として、長さ：m、質量：kg、時間：s、温度：℃、周波数：Hz、など。

④引用文献は必要最小限にとどめ、必ず本文中に番号で明示されたものだけを、論文末にまとめてください。引用文献の著者氏名が複数名の場合は、筆頭著者のみを記述し、残りは「・他」、または「et al.」としてください。

⑤投稿にあたって書式は以下の示すように統一してください。

A4 用紙に印刷し、文字サイズは 10.5 ポイントとします。用紙 1 枚に対し横 20 文字、縦 20 行でお願いします。

フォントは、日本語が「MS 明朝体」、英数字が「Times New Roman」としてください。

句読点は「、」「。」とし、句読点として「、」

「。」は使用しないでください。

⑥図表は、PowerPoint にて作成し、本文には張り付けず別ファイルとしてください。フォントは、日本語が「MS 明朝体」、英数字が「Times New Roman」としてください。本文末尾に図表の番号と注釈を記載してください。図および画像は、1 つ数百 KB (300dpi) 程度までとし、総量で 5MB を超えないようにしてください。

⑦印刷は、白黒単純印刷です。本文および図表ともに、カラーではなく白黒 (グレースケール) にて作成して下さい。

⑧採用後の最終投稿の際は、「投稿同意書」、「投稿論文チェックリスト」、「投稿承諾書」の原本を提出してください。最終投稿の方法については、採用通知の際にお知らせします。

文献の記述にあたっては、雑誌の場合には、「著者名」、「論文題名」、「雑誌名」、「巻」、「号」、「頁 (最初～最終)」、「西暦年号」の順に記入してください。書籍の場合には、「著者名」、「書名」、「編集者名」、「発行所名」、「発行地」、「年次」、「頁 (最初～最終)」、の順に記入してください。

・和文雑誌例

1) 増田裕也・他：複数指の深指屈筋腱鞘に発生した線維腫により弾発現象を呈した 1 例. 整形外科 57(9) : 1234-1237, 2006.

・英文雑誌例

1) Katsoulis E, et al. : Incidence and aetiology of anterior knee pain after intramedullary nailing of the femur and tibia. J Bone Joint Surg 88-B(5) : 576-580, 2006.

・書籍例 (共著・編集書の場合)

1) 皆川洋至・他：最新整形外科学大系 肩関節・肩甲帯. 高岸憲二 (編), 中山書店, 東京, 2006, pp2-20.

・書籍例 (単著の場合)

1) 井口傑：足のクリニック教科書に書けなかった診療のコツ. 南江堂, 東京, 2004, pp29-42.